

平成28年1月6日

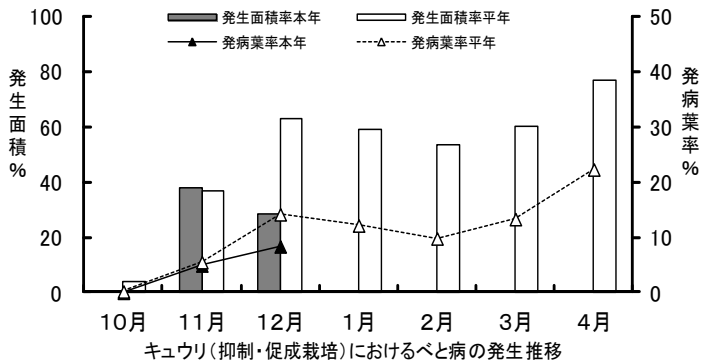
高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

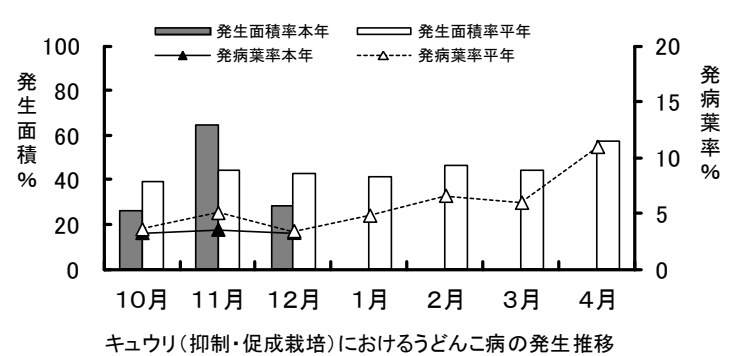
べと病 発生量: やや少

発生面積: 中央部; やや少、中西部; やや少、西部; 平年並



うどんこ病 発生量: 平年並

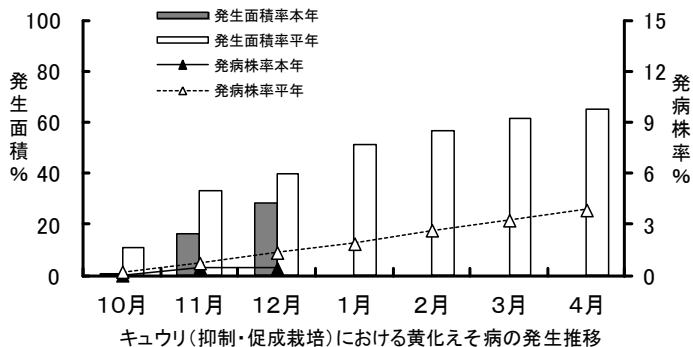
発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; 多



1月の降水量は多めと予想されるため、特にべと病の増加に注意してください。(べと病参考薬剤: リドミルゴールドMZ、ジャストフィットフロアブル、ブリザード水和剤)(うどんこ病参考薬剤: パンチョTF顆粒水和剤、ファンベル顆粒水和剤、プロパティフロアブル)

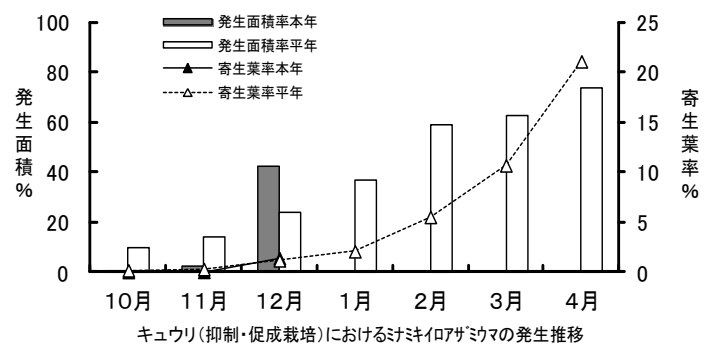
黄化えそ病 発生量: やや少

発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; 少



ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや多

発生面積: 中央部; 多、中西部; 少、西部; 少



黄化えそ病の発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除も徹底してください。気温の低下にともない、虫数の増加は緩慢になるため、現在の発生状況が継続すると予想されます。キュウリ生長点部に寄生するミナミキイロアザミウマは発見が困難で、薬剤もかかりにくく、密度が高くなると防除が難しくなることから、初期防除を心がけてください。

平成28年1月6日

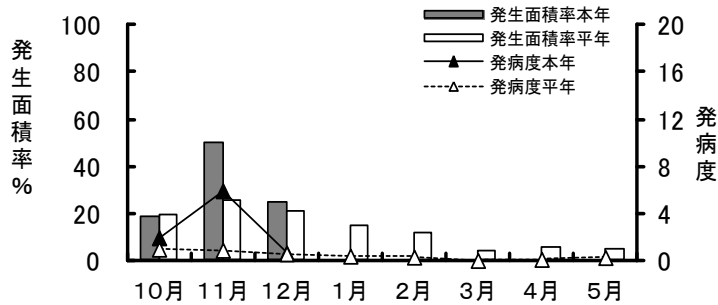
高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、西部; 少

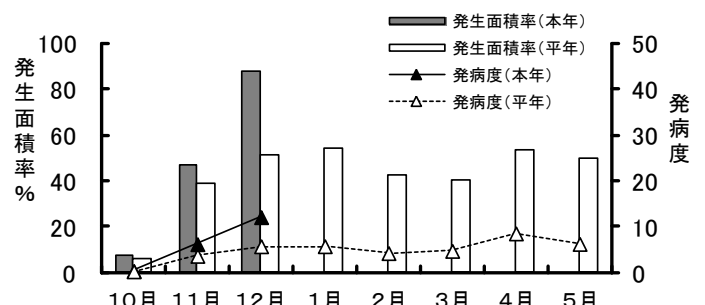


ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

発生面積、程度とも先月より減少しています。気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になると思われますが、温湿度管理、草勢管理を適正に行いましょう。(参考薬剤: パンチョTF顆粒水和剤、プロパティフロアブル、※パルミノ(スワル×))

黒枯病 発生量: やや多

発生面積: 東部; やや多、中央部; 多、西部; やや多

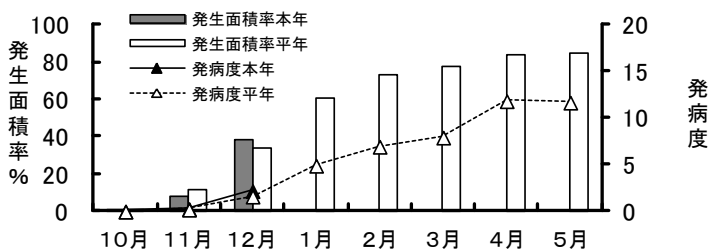


ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県全域で発生面積、程度ともに増加しています。1月の降水量は多めと予想されているので、今後も発生は増加傾向で推移すると考えられます。(参考薬剤: ロブラール水和剤、ダコニール1000、ゲッター水和剤)

すすかび病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、西部; 平年並

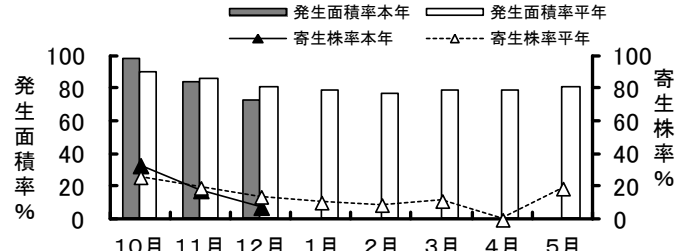


ナス(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

県東部では発病程度もやや高くなっています。1月の降水量は多めと予想されているので、今後も病勢の進展が続くと考えられます。(参考薬剤: アフェットフロアブル、トリフミン乳剤、ダコニールフロアブル)

タバコナジラミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、西部; 少

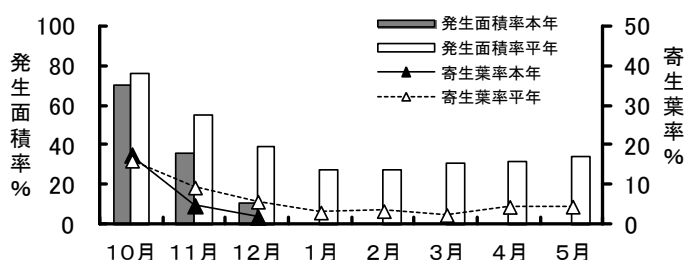


ナス(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

特に天敵導入ハウスでは、天敵の増殖と気温の低下により、密度はさらに低下すると思いますが、現在発生が多めのほ場では今後の発生動向に注意しましょう。(参考薬剤: ※コルト顆粒水和剤(タバコカスミ×)、※モベントフロアブル(スワル×))

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 少、西部; 少

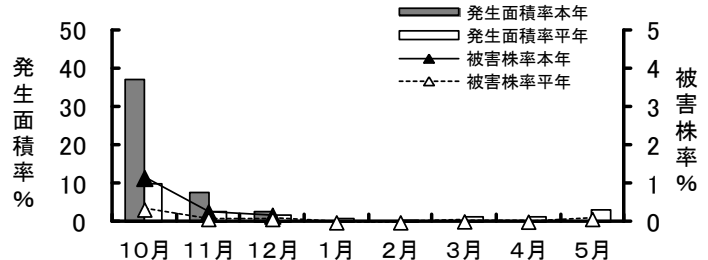


ナス(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

特に天敵導入ハウスでは、天敵の増殖と気温の低下にともない、密度の低下が予想されますが、天敵の増殖も遅くなります。それぞれの発生状況をこまめに確認し、被害の拡大が予想される場合には、対策を行いましょう。

ホコリダニ類 発生量: やや多

発生面積: 東部; 多、中央部; 少、西部; 少



ナス(促成栽培)におけるホコリダニ類の発生推移

気温の低下により、密度の低下が予想されますが、増殖が速いので発生初期を見逃さないようにしましょう。薬剤防除を行う場合は成長点付近を中心に、周辺株も含めしっかり散布を行いましょう。(参考薬剤: スターマイト、※パルミノ(スワル×))

平成28年1月6日

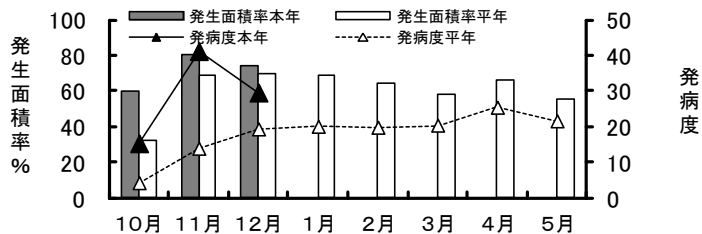
高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

うどんこ病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 平年並

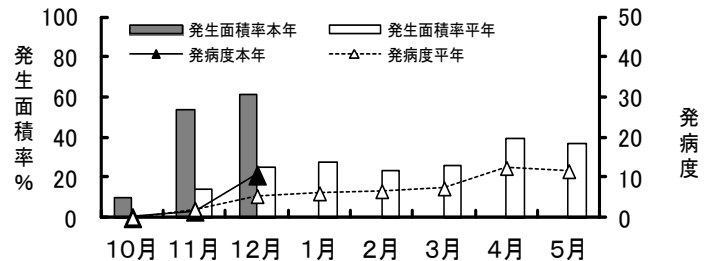


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

1月の降水量は多いと予想されるため、斑点病の発生が助長されると考えられます。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください。(うどんこ病参考薬剤: 硫黄粒剤(こなでん)、※パンチョTF顆粒水和剤(ピーマンのみ)、※スコア顆粒水和剤(ピーマンのみ)、トリフミン水和剤)(斑点病参考薬剤: ※アミスターオブティフロアブル(ピーマンのみ)、カスミンボルドー)

斑点病 発生量: 多

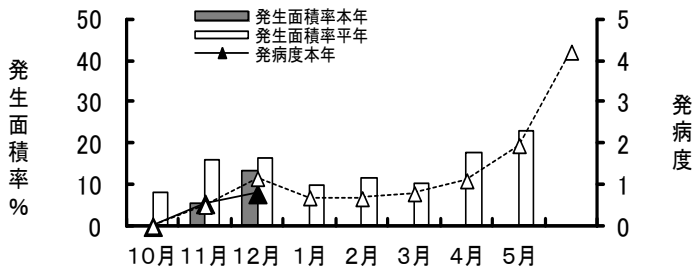
発生面積: 東部; 多、中央部; 多、中西部; 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

黒枯病 発生量: やや少

発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、中西部; やや少

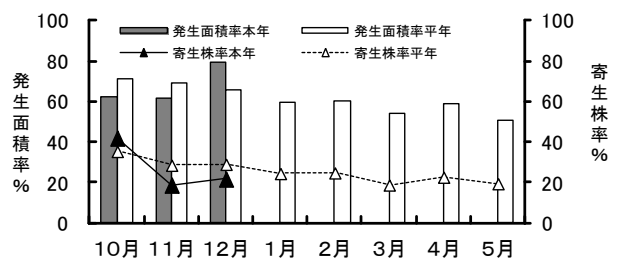


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

1月の降水量は多めと予想されるため、病勢が進展すると予想されます。発病葉については早めに除去し、ほ場外へ持ち出して発生の拡大防止に努めましょう。(参考薬剤: トップジンM水和剤、※ダコニール1000(ピーマンのみ)、ストロビーフロアブル)

タバココナジラミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; やや多、中央部; 平年並、中西部; やや多

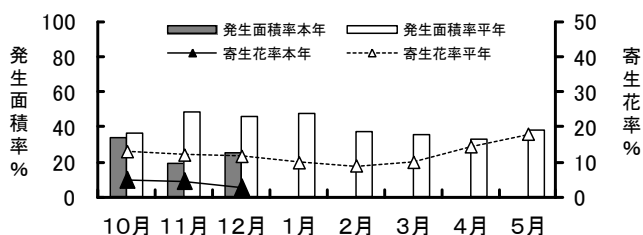


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

スワルスキーカブリダニの定着状況にもよりますが、コナジラミの成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならず、天敵のエサとなっている程度だと考えられます。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや少

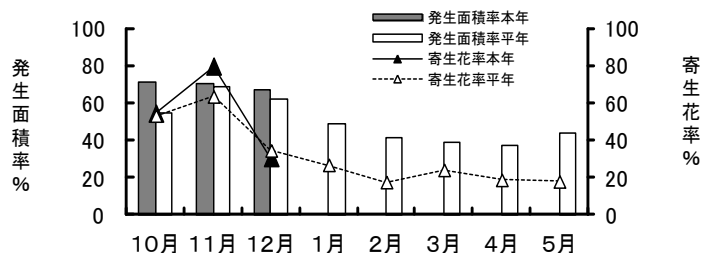
発生面積: 東部; 少、中央部; やや少、中西部; 少



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

ミナミキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマともに気温の低下、天敵類の増加にともない発生程度は先月より低下しています。天敵導入ハウスでは、天敵の定着までは薬剤の散布は極力控え、散布する場合は影響の少ない農薬を選定しましょう。(参考薬剤: ※ベネビアOD(ピーマンのみ)、※モベント(スワル×))

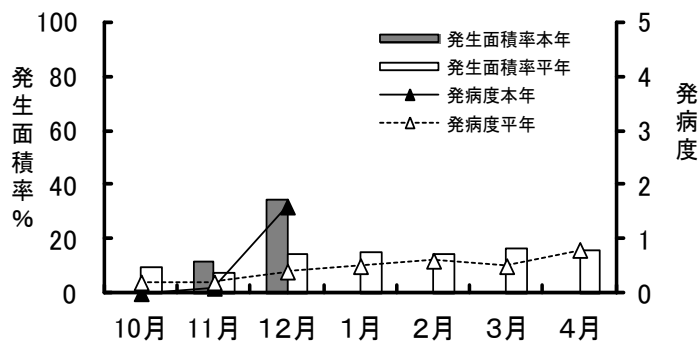
平成28年1月6日

高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

野菜類ダイジェスト版

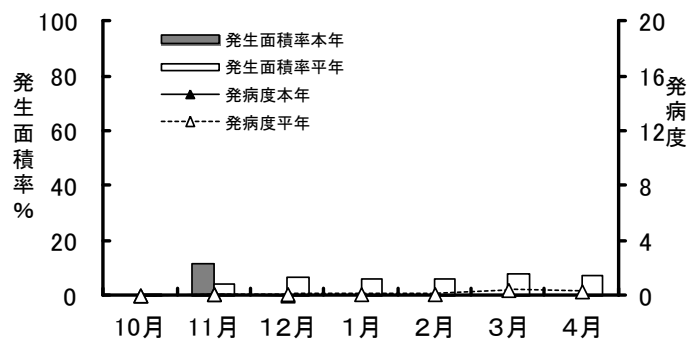
● 促成トマト(中央部)

すすかび病 発生量:多



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

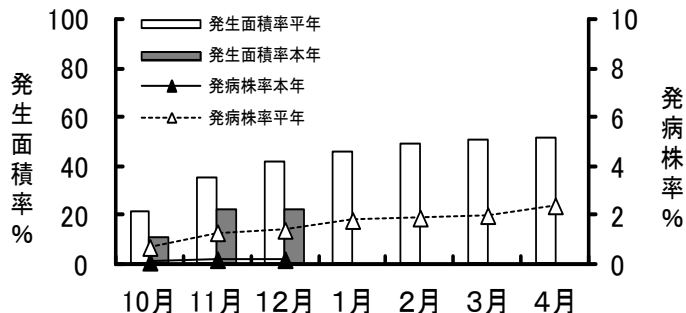
うどんこ病 発生量:少



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

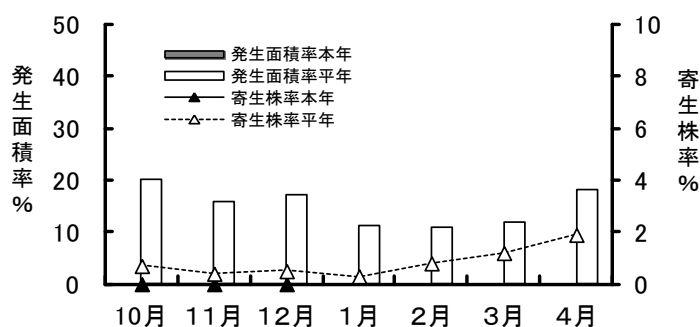
1月は降水量が多くなる予想のため、すすかび病が急に拡大することがあるので注意してください。適切な温湿度管理、草勢管理および防除を行い発生の増加を防止しましょう。また、すすかび病とうどんこ病では防除薬剤が異なるので注意しましょう。(すすかび病参考薬剤:スコア顆粒水和剤、トリフミン水和剤、ダコニール1000、ファンベル顆粒水和剤)(うどんこ病参考薬剤:アフェットフロアブル、パンチョTF顆粒水和剤)

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量:少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

タバココナジラミ 発生量:少



トマト(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

トマト黄化葉巻病の発生面積はやや少なく、発生程度も低くなっています。媒介虫であるタバココナジラミも発生が少なくなっています。発病株は感染源になりますので可能な限り除去し、タバココナジラミの発生が見られる場合には低密度のうちに防除しましょう。また、併せて粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。(参考薬剤:コルト顆粒水和剤、モベントフロアブル(サビダニ同時防除可能))